

展示風景



特性X線カメラ

## RADIEX2014(環境放射能対策・廃棄物処理国際展)に出展

RADIEX2014は「復興事業と連携した環境放射能対策へ！」をテーマとした展示会で、建設業界各社や放射線測定器メーカー等が参加しており、明星電気もIHIグループとして、ガンマ線を計測する高感度広域ガンマ線望遠鏡カメラ(OLEEV)と放射性セシウムを可視化する特性X線カメラを出展しました。

環境放射能対策は、除染中心から復興事業と連携した総合的な取り組みへと動き始めており、建設業界と放射線測定器メーカーがタッグを組んでシステム開発を進めている現状や、各企業や自治体のニーズなどの情報収集の場にもなりました。今回出展した機器の特徴である計測時間の短さ(OLEEV)、軽量で可搬型であること(特性X線カメラ)等は、環境放射能対策上ニーズが高いことを確認できました。

また、10月30日、31日の両日は、RADIEX in Fukushimaが郡山カルチャーパーク第5駐車場で開催され、高感度広域ガンマ線望遠鏡カメラ(OLEEV)、特性X線カメラ、放射能ゾンデを出展します。

(営業担当:宇宙防衛事業部営業部)



千代田組相場部長(左)と石井社長

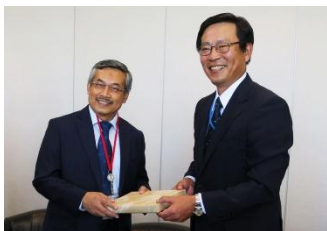
## 明星地震対策システム MAPSの命名式を実施

9月29日豊洲IHIビルにおいて、命名者である(株)千代田組営業戦略室総合営業部相場部長をお招きし、命名式を行いました。

明星地震対策システムは、明星電気が積み重ねてきた地震・防災に関する技術・製品を結集し、“揺れる前に知る”「緊急地震速報受信装置」と“現場が「どのくらい揺れたのか」を正確に測る”「計測震度計」を組み合わせ、さらに、「長周期地震動階級対応計測震度計」も組み合わせて、お客様に提供していく新しいシステムです。

本システムの発売に当たって、明星電気のビジネスパートナーの皆様から名称を募集したところ、多くの応募を頂きました。厳正な審査の結果、MAPS(Meisei Anti-earthquake prevention System)が選ばれました。今後、ビジネスパートナー、IHIグループと協力し、拡販に努めていきます。

(営業担当:防災事業部営業部 長谷川 和也)



アンディ長官(左)と石井社長

## インドネシア気象気候地球物理庁(BMKG)長官、明星訪問

9月26日インドネシア気象気候地球物理庁(BMKG)からアンディ長官をはじめ4名の方が明星電気東京事業所(豊洲IHIビル)を訪問されました。

今年度インドネシアへ納入することが決まったラジオゾンデ観測用地上設備5台の協力提案覚書の取り交わしがアンディ長官と石井社長との間で行われました。

その後、明星からインドネシアにおける気象・防災分野の取り組みの概略を説明し、さらにフィリピンへ納入する防災システムの紹介、泥炭火災や煙害(ヘイズ)でも問題になっている二酸化炭素観測用のCO2気柱濃度測定装置(FES-C)、CO2観測用ラジオゾンデの紹介、小型気象計POTEKAの取り組みを紹介しました。多くの質疑応答を行い有意義な時間を得ることができ、アンディ長官も満足して帰国されました。

また、POTEKAには非常に興味を持たれ今後の展開が期待されます。今後も明星のグローバル展開の最注力国として取り組んでいきます。

(営業担当:営業統括部グローバル戦略グループ)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。